

# TheBeer Game Kit in Japanese

— [日本語版] ビールゲームキット —

The Japanese Chapter of the  
International System Dynamics Society

国際システムダイナミクス学会日本支部

written by Hironori Kurono

March, 1996

revised in July, 1996

# [日本語版] ビールゲームキットの内容説明

国際システムダイナミックス学会日本支部

このキットは、表紙共に22頁です。(表紙A4版1頁・A4版10頁・A3版11頁、総計22頁)

[日本語版] ビールゲームキットの内容説明(本頁のこと:A4版1頁)

ビールゲーム(Beer Game)の説明(A4版5頁)

- ビールゲームのシートの説明(A4版1頁)
- ビールゲーム記録シート(A4版1頁)
- 在庫と受注残のグラフシート(A4版1頁)
- 注文のグラフシート(A4版1頁)

これらを1組とし、各役割に配付します。

ビールゲーム盤の組立方法の説明(A3版1頁)

ビールゲーム盤の組立キット(A3版10シートを1組、合計10頁)

1組で、1ゲーム盤ができます

必ず、コピーしてからご使用下さい。

このキットは大切に保管しておき、このキットからコピーしたゲーム盤やシートのみを使用します。ゲームでは、1チームが1枚のゲーム盤を使用します。1チーム(1枚のゲーム盤)には、4つの役割(小売店・二次卸・一次卸・工場)があります。チーム編成によっては、1つの役割を2名以上の複数で担当しても結構です。

まず、ゲーム盤を組立てます。 - ビールゲーム盤の組立方法の説明(A4版5頁)をよく読んで下さい。そして、 - ビールゲーム盤の組立キット(A3版10シートを1組・合計10頁)を、チーム数ほどコピーします。例えば、同時に4チームでプレーする場合は、4組コピーし、4枚のゲーム盤を組立てます。次に、 - ビールゲームのシートの説明(A4版1頁)、と、 - ビールゲーム記録シート(A4版1頁)、 - 在庫と受注残のグラフシート(A4版1頁)、 - 注文のグラフシート(A4版1頁)、を1組としてコピーし、各役割に配布します。コピーの組は、(チーム数×4役割)組ほど用意します。参加者の記入の際の失敗に備え、余裕を持ってご用意下さい。ゲームの前には、 - ビールゲームのシートの説明(A4版1頁)を使い、在庫・受注残・注文の記録とグラフ化について、説明を徹底して下さい。

## その他、用意するもの

このキット以外に、次のものを必ずご自分でご用意下さい。

各ゲーム盤には、一円玉が同程度の大きさのものを200個弱ご用意下さい。また、各ゲーム盤に、10円玉(一円玉の10個分を表す)か同程度の大きさのものが10~30個あまりあれば便利です。

各ゲーム盤上の「注文票」に配置するため、名刺サイズのカードを50枚ご用意下さい。このカードには、1枚目から4枚目には4と記入し、5枚目からは全て8と記入しておきます。顧客の注文パターンを示すこのカードの数字は、参加者には事前には秘密です。このカードは、繰り返し使用します。

各役割には、透けて見えない紙質の名刺サイズ小の用紙を、1回のゲームにつき50枚程度ご用意下さい。1ゲーム盤につき200枚を用意することとなります。

この名刺サイズ小の用紙を1ゲーム盤につき7枚追加して用意し、全て4と記入します。そして、ゲーム盤の「発注」「注文中」と「生産要請」に伏せて置きます(図では、説明のため表にしています)。各役割には、鉛筆を1本ご用意下さい。各役割のグラフの色分けには、黒青緑赤のペンが重宝です。

各役割には、計算用紙をご用意下さい。

ゲームの進行時に<週>を参加者に知らせるため、<週>を記入する黒板か掲示用紙をご用意下さい。ゲームの省察の段階でグラフを貼り合わせるため、テープをご用意下さい。グラフは、在庫と受注残、および、注文について次のように縦にテープで貼り合わせ、チーム別にテープで壁に止めます。こうして、参加者全員がチームの結果を相互に容易に比較できるようにします。

<チーム1>

<チーム2>

<チーム3>

...

小売店の在庫と受注残・注文

小売店の在庫と受注残・注文

小売店の在庫と受注残・注文

...

二次卸の在庫と受注残・注文

二次卸の在庫と受注残・注文

二次卸の在庫と受注残・注文

...

一次卸の在庫と受注残・注文

一次卸の在庫と受注残・注文

一次卸の在庫と受注残・注文

...

工場の在庫と受注残・注文

工場の在庫と受注残・注文

工場の在庫と受注残・注文

...

## 参考文献

島田俊郎編『システムダイナミクス入門』(日科技連、1994年)

ピータ・M・センゲ著、守部信之他訳『最強組織の法則』(徳間書店、1995年)